

鳥羽で最期まで暮らそう

在宅医療を支える

職種の役割を知ろう!!

市在宅医療・介護連携部 ☎(25) 1182

「かかりつけ医」編



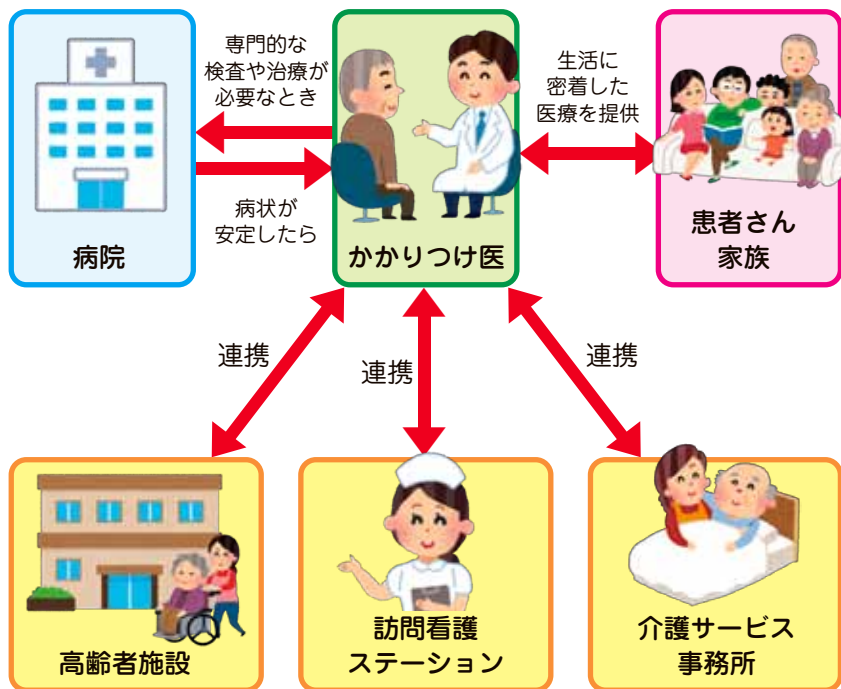
中村菊洋 医師

かかりつけ医とは

かかりつけ医とは、「なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要なときには専門医、専門医療機関を紹介でき、身近でたよりになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師」と日本医師会では定義しています。

かかりつけ医はかかりつけの患者さんをできるだけ長く診ることが本来の姿であり、患者さんの全て生活にかかわる重要な役割があります。(図1)

図1 かかりつけ医のやりわり



治す医療から 治し支える医療へ

高度な救命救急医療が発達して、日本人の平均寿命は世界のトップレベルとなつていきます。これまで、質の高い医療とは患者さんの病気を治す医療でした。しかし、高齢化に伴い、高度な先進医療でも、完治することが出来ない病気が増えてきます。要介護の原

在宅医療とは

因疾患をみると、脳卒中、衰弱、骨折・転倒、認知症などがあります。このような病気をもちながら、通院が出来なくなつた患者さんから依頼があればこちらから出向いて在宅で診療し、さらに希望があれば人生の最終ステージとしての看取りまで行う、そんな治し支える医療がかかりつけ医の重要な役割です。

通院困難な患者さんに、入院や入所ではなく、定期的に計画して患者さん宅を訪問し、治療を続けることが在宅医療です。言い換えれば、在宅医療とはその地域を病棟（病院）と見立て、自宅のお部屋が病室になることです。(図2)しかし、24時間365日の自宅で療養生活に対する不安をなくすことは、かかりつけ医のみではとうてい困難であり、在宅医療では多職種の連携が必要で

医療関係者と介護関係者が連携し在宅医療を支えていきます。日本の医療は急性期の大病院を頂点として、かかりつけ医を底辺とする医療の垂直連携が中心でしたが、今後はかかりつけ医が在宅医療を

図2

在宅医療とは地域の病棟化(病院化)

病院医療	在宅医療
医師 看護師 看護補助など リハビリ 病院相談員 口腔外科・歯科 薬剤師	かかりつけ医 訪問看護ステーション 訪問介護、訪問入浴など 訪問リハビリ ケアマネジャー、行政担当者 訪問歯科診療 訪問薬剤管理

医療機関への通院が困難で、病院から退院して自宅療養を始めるかた

- 褥瘡、経管栄養・中心静脈栄養、在宅酸素など特別な医療処置が必要なかた
- 在宅ターミナルケア(終末期医療が必要なかた)

※希望するかたは、かかりつけ医に相談してください。

在宅医療の対象者

進めるために、自宅を訪問して看護を行う訪問看護師や訪問薬剤師、歯科医師による口腔ケア、さらに介護分野の訪問介護やケアマネジャー、地域包括支援センターなどの多職種が水平に連携することが必要です。その仕組みづくりを、医師を含めた医療関係者と介護関係者で進めています。